

2016年度理事長報告

第49代理事長 長谷川 啓志

綱領には青年会議所の決意、行動理念と目標が明確に表現されています。我々は、「明るい豊かな社会」の実現を目的に日々の運動を行うにあたり、一人ひとりが青年会議所会員としての責任を自覚し、地域の先頭に立つ立場として自己を確立していかなければなりません。そのために最も必要とされるのは、強い意志力である「かくあるべし」という行動を裏付ける倫理的な信念を備えることと考えます。意思力は「やる気」という「意欲」であり、それが無ければどれほど有能で優秀な人間でも何事も成し遂げることは出来ません。

青年会議所会員は、JC活動すべてにおいて日頃からあるべき姿を思い描き、強い意志力を持って行動しなければならない。2016年度は「かくあるべし 堅持する品格」をスローガンに掲げ、その強い意志力を持って、こうあるべきと決めたならば、「毅然たる姿勢で正しい人の倫を突き進め。」の基本理念の下、青年会議所会員としての品格を持ち、あるべき姿を求め続けて、一年間JC活動に励んで参りました。

あるべき姿というものは、創立以来脈々と受け継がれてきた鈴鹿青年会議所の歴史や伝統の中に見出すことができますが、それだけでは単なる「守旧」に過ぎず、その歴史や伝統を踏まえ、未来を切り拓くために我々はどうあるべきかを考えて行動していくことこそが、我々が本来果たすべきことであり、使命であるはずです。先人がつけた道の跡を辿ることはたやすいことですが、その先に新たな道を開拓していくことは困難を極めます。しかし、その困難に立ち向かってこそ初めて人間は成長することができるのです。

また、鈴鹿青年会議所創立50周年という記念すべき年の前年となる2016年度は、新たな5年間のビジョンを策定する重要な一年。そのビジョンの先駆けとなり、強い意志力を持ち、新たな発想の枠を広げる、何事にも「挑戦」の一年間でありました。

2016年度理事長所信の最後はこう結びました。

不連続の連続という組織の中で、失敗を恐れることなく挑戦し続け、一人ひとりが生き生きと輝ける自由な発想力と大胆な実行力を持つようではないか。

青年として、今しかできない、今だからこそできることを全うしようではないか。

そして、しっかりとした高い「志」をもち、未来へと突き進んでいこう。

私は何事も前向きに、一生懸命であることが人間一番輝いていると思います。事業においても会の運営においても失敗を恐れることなく新たな「挑戦」をすることを皆さんに求め続けました。新たなことであるが故に進むべき道を見失い、時には進めるにあたり、困難に行き当たったことも少なくなかったことと思います。しかし、その度に皆さんの中で

あるべき姿というものが強くなり、やがて確信へと変わっていったはずです。そして、2016年度の実績が鈴鹿青年会議所の歴史となり、今後の鈴鹿青年会議所の礎となることと確信します。もちろん成功したことばかりではなかったと思いますが、新たな挑戦に取り組んできたことに誇りを持っていただきたいと思います。

地域に関わりを持つ諸団体との連携、商工会議所青年部と共催した地域発展事業、3回に渡る例会で日本人の精神を基にした人間力向上、中学生を対象とした青少年育成事業、多文化理解の基礎となる自国文化の理解、伊勢神宮における早朝例会、鈴鹿青年会議所の知名度向上に努め、会員全員で拡大に取り組む仕組み作り、新たな思考と工夫を取り入れた効率的な会務運営と予算節減。どれひとつ取っても歴史に裏打ちされた中、新たな創意工夫を取り入れ、未来を切り拓いていくあるべき姿を体現することができました。ここからまた新たなあるべき姿を模索することで鈴鹿青年会議所はさらなる発展を遂げ飛躍していくことと思います。

最後になりますが、鈴鹿青年会議所第49代理事長という大役を預かり、貴重な経験をさせていただき、私自身最高の一年とすることができました。皆様から多大なるご理解ご協力を賜り心から感謝致します。このような機会を預けていただいた、2015年度山川役員選考委員長はじめ、2016年度理事となり支えていただいた役員選考委員会の皆様、理事長の腹心として共に挑戦し続けていただいた藤田筆頭副理事長、真弓副理事長、浜本副理事長。何よりも私の一番の理解者である安田専務理事には、執行部をはじめ、理事メンバーに、時には厳しく、愛情を込めて接していただき、多くの物事の気付きと学び、鈴鹿青年会議所に大きな利益を与えていただきました。例年ではありえない事業や例会が多い年ではありましたが、しっかりとした理事の監督、業務執行を監査していただいた伊藤監事、山川監事。札幌での理事会など色々ありましたが、前例のない例会や事業で理事長所信を具現化していただいた委員長、副委員長の皆様。そして特別会員の皆様、2016年度に関わっていただいたすべての皆様に心から感謝御礼申し上げ2016年度理事長報告とさせていただきます。本当にありがとうございました。

JAYCEEたるもの「かくあるべし」